

事業所名: グループホーム 晴海の丘

作成日: 平成 26 年 7 月 29 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】 注)「項目番号」の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。					
優先順位	項目番号	次のステップに向けて取り組みたい内容	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	23 26	スタッフよりの問いかけのみに頼らず、日常の利用者様同士の会話や家族様との面会・面談時の雑談の中からも意向や要望を推察し、介護計画に反映させることで願いを叶えるよう努める。	利用者様(家族様を含めた)の思いや意向の更なる把握(現在の生活に合わせた)と介護計画作成の共同に努める。	利用者様の現在の状況をしっかりと把握し、それに応じた解決方法などの知識を広め、技術の応用に努める。また、介護計画作成段階に利用者様・家族様の関りを増やし、利用者様自身の能力を引き出すことができる介護計画の作成を行う。	24 ヶ月
2	1 11 13	日常の利用者様への支援の中にも常に“理念に沿ったものであるのか”をスタッフ個々の中に問い直すことを重視する。また、スタッフ間での共有を実践に繋げられるよう努める。	全スタッフでの理念に対する更なる理解と共有を図り、理解から応用(活用)へのステップアップを目指す。	研修・勉強会への参加や他部署や他施設との交流等により、知識・技術の習得を図る。また、スタッフ個々人が自らの言動を振り返り、反省や的確な自己評価が行えるような環境整備に努める。	12 ヶ月
3	20 49	馴染みの人・場所との関係継続を図り、併せて施設近隣の散歩や近隣住民との交流の機会を増やすことに努める。	家族様の協力を仰ぎつつ、馴染みの関係継続及び、他部署の利用者様や近隣との交流を増やす。	施設周辺の散歩や外気を感じて頂くことから始め、次第に外出の範囲を広げることで、利用者様の行きたい場所への支援を図る。	12 ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月